

がんエピトランスクリプトームとAI

人工知能(AI)で予後予測ができるようになったといっても驚かない時代になった。臨床ではMedical Staffをアシストする立場としてAIの利用が進んでいる。一方、基礎研究ではAIが自ら作り出す識別能力を活かせる兆しが見えてきた。私たちの研究室ではAIを用いてがんエピトランスクリプトーム(RNA修飾)を研究している。がんにはDNAの異常が必要とされるが、AIは未知の十分条件を明らかにしてくれる。特にバイオマーカーで性能が得られている。

大阪大学大学院医学系研究科
疾患データサイエンス学 教授

講師 **石井 秀始 先生**
(いしい ひでし)

プロフィール

昭和63年4月 千葉大学医学部卒業
昭和63年5月 千葉大学医学部附属病院研修医 (内科学)
平成4年4月 国立がんセンター研究所リサーチレジデント
平成7年4月 放射線医学総合研究所研究員 (情報工学)
平成8年4月 米国トーマスジェファーソン大学研究員
平成13年1月 米国キンメル癌センター助手講師
平成14年10月 自治医科大学講師
平成20年4月 九州大学特任准教授 (外科学)
平成23年4月 大阪大学大学院医学系研究科寄附講座教授
平成26年4月 大阪大学大学院医学系研究科特任教授



日時：平成30年9月18日(火)18時～19時

場所：福島県立医科大学11号館 第2臨床講義室

司会：丸橋 繁 先生 (肝胆膵・移植外科学講座)

参加無料／事前登録不要

- ◆ がん治療に携わる医師、メディカルスタッフ及び、患者様、一般の皆様を対象に公開セミナーとして開催されます。
 - ◆ 本セミナーは、『東北次世代がんプロ養成プラン』事業の一環となっています。
 - ◆ 本学大学院生は、大学院授業要綱で規定する共通必修科目(規定の8)に該当します。履修票を忘れずにお持ち下さい。
- 【お問い合わせ】 福島県立医科大学 教育研修支援課 TEL:024-547-1095 E-MAIL: ganpro@fmu.ac.jp
【次回予定】 平成30年10月16日(火) 18時～19時 / 福島県立医科大学11号館 第2臨床講義室
(講師)神奈川県立がんセンター 消化器内科(肝胆膵) 医長 上野 誠(うえの まこと)先生